



農林水産省支援 平成22年度 農商工等連携促進対策中央支援事業

6次産業化推進に向けたコーディネーター人材育成研修～連続開催(東京)～

<第5回> 地域発信型商品・サービスの戦略展開

～コーディネーターのマーケティング手法～

日時：平成23年2月17日(木)

13:00～17:00

場所：日本橋プラザ 3階 第3,4会議室

(東京都中央区日本橋2-3-4)

【研修の狙い】

昨今、農商工連携や食農連携、6次産業化など、食をとおした地域活性化を目的とした取り組みが、全国各地で推進されています。

いずれも、『連携』をキーワードとした取り組みで、これらの成否は、事業を実施する生産者や事業者の努力と共に、その活動をフォローし、取り組み全体をコーディネートするコーディネーターの手腕にかかっているといえるでしょう。

食をとおした地域活性化に取り組むコーディネーターには、生産から小売までフードチェーン及びその他関連業種に対する知識、地域文化や歴史に対する認識、行政施策の情報等、幅広い視野を有した戦略的なコーディネートが求められているといえます。

(社)食品需給研究センターでは、農林水産省の平成22年度「農商工等連携促進対策中央支援事業」の一環として、コーディネーターの持つべき視点を一連の流れとしてご理解いただき、地域において実践していただくことを目的とし、東京において全5回のシリーズ研修を行っております。

研修第5回目は、「地域発信型商品・サービスの戦略展開」をテーマとした研修を行います。講義では、6次産業化時代における新たな販路開拓の考え方やサービスプロデュースのノウハウを学び、実践研修では講義での内容を踏まえ、ケースを利用した販売プロモーション戦略の立案を行います。

【研修プログラム】

開会 13:00～13:05

プログラム、講師紹介

講義 13:05～14:00

地域発信型商品・サービスの戦略展開

株式会社ファーマーズ・フォレスト

代表取締役社長 松本 謙

(食農連携コーディネーター(FACO))

農業と食、地域資源を結ぶプロデュース事業を展開し、食と農を通じた地域活性化に情熱的に取り組む講師が、6次産業化時代における新たな販路開拓の考え方や、サービスプロデュースのノウハウをお伝えします。

<休憩> 14:00～14:15

実践研修 14:15～16:55

販売プロモーション戦略の立案

開発された新商品の販売コーディネートを実施するためには、依頼者の想いや商品コンセプトや特性、内外環境を理解した上での戦略的な販売プロモーションの立案が重要です。実践研修では、グループワーク形式で、ケースを利用した販売プロモーション戦略を立案していただきます。

閉会 16:55～17:00

事務局よりご挨拶





進行説明

■進行説明(15分)

今回の実践研修では、各グループで共通のケースを利用した販売プロモーション戦略を立案していただきます。
はじめに講師より、研修で取り上げるケースの概要、作業手順などについて説明を行います。

■自己紹介(5分)

1グループ6~7名です。各グループのメンバー同士、簡単に自己紹介を行います。

■グループワーク(75分)ー販売プロモーション戦略の立案

開発された新商品の販売コーディネートを実施するためには、依頼者の想いや商品コンセプトや特性、内外環境を理解した上での戦略的な販売プロモーションの立案が重要です。
どのようなパッケージにするか、販路開拓はどうするか、リリースの作成など、各グループで販売戦略について意見を出し合い、販売プロモーション戦略を立案していただきます。

作業①ーケースの理解と分析～課題の整理<個人> (10分)

配布する参考資料を元に、そのケースのポイントを読み解いて、まずは個人で課題の整理をします。

作業②ーグループ討議～情報共有と方向性の検討 (30分)

個人で整理しまとめた内容を元に、グループ内で意見を出し合い、合意形成を図りましょう。

作業③ー販売プロモーションの立案 (20分)

当該ケースにおける具体的な販売プロモーションを立案していただきます。

作業④ー内容の精査、とりまとめ (15分)

グループ内で話し合い、出し合った内容を再度見直し、取りまとめ作業を行います。



グループワーク



グループ発表

■グループ発表(30分)

講師と研修参加者全員に対し、グループを代表した発表者が、グループ内でまとめた内容を4~5分で発表します。

■ケース企業の実例紹介(15分)

講師より、総合プロデュースの実践事例紹介をしていただきます。

■まとめ(15分)

各グループの発表に対する講師からのコメント、総括をいただきます。

まとめ

■講師のご紹介：松本 謙 (まつもと ゆずる)

<対応可能なコーディネート業務>

- | | |
|-------------------------------|--------------------------|
| 1. 農商工連携コンサルティング | 4. 観光連動型アグリツーリズム |
| 2. 道の駅や農村交流施設の活性化や運営全般のプロデュース | 5. 地域食材の販路支援、ブランドマーケティング |
| 3. 産地直売、農村レストランの総合プロデュース | 6. 農業プロモーション・担い手支援 |

<食農連携や地域活性化に対する想い>

私は、自らが農園と直売流通、レストラン、温泉などを持つ農林公園ろまんちっく村の経営などを行う経営実務家である中小企業診断士です。そうした実際の経歴を活かしたリアルな取り組みを通じて、よりアグレッシブで実践的な農業と食、地域資源の総合プロデュースで「農業と食のエンターテインメント」をご提案しております。

※詳しくは、食農連携コーディネーターバンクをご覧ください→ <http://www.fmric.or.jp/facobank/index.html>

■お願い

- ・研修の様子を写真に撮らせていただき、事業報告書やホームページでの報告などに掲載させていただきますので、ご了承下さい。
- ・研修終了後、アンケートをご提出にご協力お願いします。